

民族を超えた共生

旧ユーゴスラビアの『今』と『未来』



2006年夏/マケドニア・コソボにて

第一部 基調報告

旧ユーゴスラビアの現状

富永 玲子 <慶応大学4年/旧ユーゴスラビア交流の輪>

舘野 七帆 <神奈川大学4年/旧ユーゴスラビア交流の輪>

第二部 パネルディスカッション

共生からの平和構築

柴 宜弘氏 <東京大学大学院教授>

河原 仁氏 <外務省中・東欧課地域調整官>

岡島 アルマ氏 <セルビア・クロアチア語翻訳家>

田淵 大輔氏 <文教大学3年/文教ボランティアズ>

《協賛》

三井住友海上スマイルハートクラブ

《協力》

NPO法人 ADRA Japan

NPO法人 JEN

サラエヴォ・フットボール・プロジェクト

国際ボランティア連絡会議

文教ボランティアズ

11/24 (金)

オリンピック記念青少年総合センター
センター棟311教室

19:00~21:00



入場無料

旧ユーゴスラビア 交流の輪



パネリスト紹介

柴 宜弘氏

東京大学大学院総合文化研究科教授。東欧地域研究、バルカン近現代史を専攻。現在は、紛争後社会の和解の試みとして、バルカン諸国の歴史教科書比較に関心を持っている。旧ユーゴスラビアについての著書を多く出版している。

河原 仁氏

外務省中・東欧課地域調整官。1973年に外務省入省後、主として旧ユーゴスラビア在勤と本省の東欧担当地域科勤務を経験。その間、旧ユーゴスラビアの繁栄と崩壊を目の辺りにしてバルカン史の重要な局面の立会人となった。2004年10月から現職。

岡島 アルマ氏

旧ユーゴスラビアのボスニア出身。4歳から大学まではセルビアのベオグラードに暮らした。現在、外務省研修所の語学講師をしている。過去に、NHKの番組の翻訳や旧ユーゴスラビア出身のサッカー選手ストイコビッチ氏の通訳を勤めた経歴をもつ。

田淵 大輔氏

文教大学国際学部国際関係学科3年。2006年度文教ボランティアズの活動に参加、同団体の代表を務める。同団体は2001年より活動を始め、現在に至る6年間で約100名の学生が海外においてボランティア活動をしてきた。主な活動場所はボスニア、コソボ、東ティモール。

富永 玲子

慶應大学法学部政治学科4年。旧ユーゴスラビア交流の輪のメンバーとして、2006年夏期、館野とともに旧ユーゴスラビア諸国を訪問。

館野 七帆

神奈川大学法学部自治行政学科4年。旧ユーゴスラビア交流の輪のメンバーとして、2006年夏期、富永とともに旧ユーゴスラビア諸国を訪問。

20世紀、欧州最大と言われた旧ユーゴスラビアの紛争は、多くの死者、難民、国内避難民をうみました。当地域は、現在も破壊されたままの建物や故郷に帰れない難民、いまだ癒えることのない心の傷など、多くの問題を抱えています。しかし同時に、人々は復興を進め、平和へと歩み始めています。

旧ユーゴスラビアの今を知り、忘れずにいることで、旧ユーゴを始め世界の平和構築へと繋げていきたい—そのような願いの下、このシンポジウムを開催します。

一人でも多くの方のご来場を、心よりお待ちしております。

旧ユーゴスラビア交流の輪 一同

当日参加も可能ですが席に限りがございますので、以下のメールアドレスまでお名前とご所属を明記のうえお申し込みください。

主催：旧ユーゴスラビア交流の輪(<http://link2yugoslavia.nomaki.jp>)

お申し込み/お問い合わせ：

link2yugoslavia@yahoo.co.jp